

山口診療所 漢方通信

発行人:医学博士・漢方医 山口 巖
山口診療所/東京都品川区西五反田2-29-11
Tel&Fax.03 (3490) 5495



のバランスで健康づくり

【ニキビ】を漢方で退治する！

ニキビは思春期に多くみられ、ありふれた皮膚病のひとつです。

が、「治療を受けたがなかなか治らないので、漢方でどうにか出来ないか」とニキビの漢方治療を希望されて来院される方が沢山おられます。

西洋医学ではニキビの治療は、軟膏・ローションなどに抗生物質などの飲み薬を併せた局所治療が中心です。が、漢方ではニキビの状態を漢方の目でとらえ、且つ、そのニキビの背景にある身体全体のひずみや乱れを重視し、きめ細かく対応して治療するのが特徴です。

そこで、実際の症例を2つお話ししましょう。そうすると、同じニキビでも漢方的なとらえ方が違うと治療も違ってくるということがお分かりいただけるでしょう。

症例1 Yさんは24歳のOLです。

高校生の頃から、ニキビができてはじめ、色々な治療を受けましたがよくなりならず、増える一方という状態で来院されました。

診察をしますと、顔杯に赤いニキビがあり、その他にも足が冷える、顔がほてる、生理痛が重いなどの症状があります。

そこで、桂枝茯苓丸(けいしぶくりょうがん)に薏苡仁(よくいじん)を加えたものを煎じ薬にして処方しましたところ、1ヶ月飲むうちにニキビの赤みが薄くなり、引き続き6ヶ月ほど飲んで生理痛も含めてすっかりよくなりました。

症例2 Tさんは23歳のOLです。

Tさんも高校生の頃からニキビができてはじめ、あちこちで治療を受けましたが、あまり効果が現れず来院されました。

Tさんの場合は、ニキビが生理近くなると悪化するのが特徴です。

そこで、ニキビの状態や生理日前に悪化することから、清上防風湯(せいじょうぼうふうとう)と加味逍遙散(かみせうようさん)の2種類の粉薬を処方しました。

飲み始めて3ヶ月になりましたが、ニキビの赤味も薄くなり、生理前になってもそれほどひどくならなくなりました。それに加えて、冷えや生理前の色々な症状も大分うすらぎ引続き服用中です。

以上の2つの治療例をみてもお分かりのように、漢方では同じニキビでも同じ治療をしないのが特徴です。漢方的にみたニキビの状態やその背景をみてきめ細かく対応します。

ニキビ退治
ここがポイント！

- ◎酒・タバコはやめましょう。
- ◎ニキビを悪化させます。
- ◎甘い物や油っこい食事でもきるだけ避けましょう。
- ◎便秘しないように気をつけましょう。

西洋医学
局所的な治療
漢方
漢方の目
身体のみずみ
ニキビ以外の
身体の不調も
解消

漢方医からの生活アドバイス

酒・タバコ
甘いもの
油っこい食事
便秘